



大井町 岡瀬沢北
木村 謙三さん

□プロフィール

滋賀県出身。木村歯科医院（大井町）の院長。後継者である子どもと共に診療にあたっている。恵那で開業して35年、歯科医師として50年。インプラント治療歴は45年で、同医院には県外からも患者が訪れる。保護司としては27年目を迎えた。趣味は海外一人旅で、これまでに32カ国を訪れた。世界遺産や美術館を訪ねる他、旅先での交流も楽しんでいる。中学から大学まではサッカー部で体力づくりに励んだ。普段の休日は、温泉などでリフレッシュして過ごす。



◀全国保護司
連盟ウェブサ
イト



▲第1回アジア保護司会議で
発表する木村さん(平成26年)

「歯科医師は、人の口の中を診る。保護司は、人の心の中を診る」。そう語る木村さんは、本業の歯科医師として人々の健康を支える傍ら、罪を犯した人の更生を支援するボランティア「保護司」として25年以上にわたり活動し、人の立ち直りを支え続けている。歯科診療では、患者の立場に立ち、治療方法を示しながら一緒に考えることを大切にしている。50歳の頃、知人の依頼を受け、自身の視野を広げようと保護司としての活動を始めた。罪を犯した人と定期的に面談し、相手を一方的に指導するのではなく、まず話を聞き、受け止めることを心掛けてきた。「生まれつき悪い人はいない。誰一人取り残さない」の信条で、相手に寄り添い続けている。地域での活動にとどまらず、「保護司アジ研協力会」に所属し、12年間理事を務めた。英語力を生かし、フィリピンを二度訪れスピー

人を診る このまちと共に 歯科医師として、保護司として

チを行う他、アジア保護司会議で恵那での活動を発表するなど、海外の保護司制度の普及にも力を注いできた。長年の更生保護活動などが認められ、昨春秋には、藍綬褒章を受章した。木村さんは、保護司の高齢化やなり手不足に危機感を抱く。「更生保護への理解が広がり、新たな保護司が増えてほしい。犯罪を防ぐには地域の見守りが欠かせない。悩んでいる人を孤立させず、支え合える社会になれば」と、毎年7月の「社会を明るくする運動」強調月間には広報活動にも参加する。「これからも、人や社会への貢献を生きがいに、歯科医療と更生保護の活動をずっと続けていきたい」と笑顔で話す木村さん。人に寄り添い、地域を支え、自らも学び続ける。その歩みは、人に寄り添い生きることの尊さを教えてくれる。

※「国連と日本政府が設立した「国連アジア極東犯罪防止研究所（アジ研）」と連携するボランティア組織。国際研修への協力や国際交流を行う。



6/28 待ちました！ 宮盛座
改修記念式典とこけら落とし公演



6/6 棚田を彩る
1000の明かり

坂折棚田(中野方町)の「田の神様ともしび祭り」に約460人が訪れ、ろうそくの明かりが彩る幻想的な夜を楽しみました。



6/10 大きなダンプカーに
気を付けよう！

リニア工事が近くで始まる大井第二小で「リニア特別授業と交通安全教室」を開催。児童らは、大型車の内輪差などを学びました。



6/14 練習の成果を披露
操法技術競技会

市内12隊が、規律のとれた動きと気迫あふれる小型ポンプ操法を披露。優勝した中野方分団は、10月の県消防操法大会に出場します。

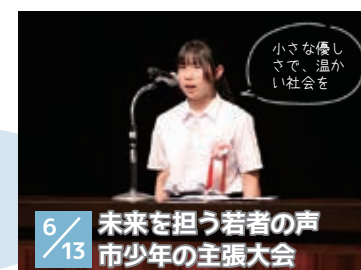


6/20 ごみ減量楽しく学ぶ
えな環境みらいらぼ

市民参加型プロジェクト「えな環境みらいらぼ」を開催。カードゲームや施設見学、ワークショップで、ごみ減量と資源化を楽しく学びました。

おめでとうございます！

第22回市少年の主張大会で最優秀賞を受賞した小木曾陽南さん(恵那東中3年)。日常の小さな優しさを熱く語りました。



6/13 未来を担う若者の声
市少年の主張大会



ケイナクグリーン(岩村町)が経済産業省「はばたく中小企業・小規模事業者300社」を受賞。モルディブでの、廃食用油を燃料に転換するプロジェクトが評価されました。



6/24 はばたく中小企業・小規模
事業者300社の受賞報告



大規模改修工事が完了した宮盛座(三郷町)で、三郷歌舞伎保存会と中村いてうさんが演目を披露。会場では、掛け声や拍手とともにおひねりが飛び交いました。

